

有田川町議会広報

かわら版

第62号

令和3年8月発行

QRコードから
議会の情報
をご覧ください



有田川町議会 検索

「録画配信」を開始しました！

令和3年第2回定例会の一般質問は6月17日に行われ、9人の議員が登壇しました。各議員の一般質問は紙面の都合上、要約したものを掲載しています。

また、令和3年6月25日からインターネット録画配信を開始しました。パソコンやスマートフォンなどからお気軽にぜひご覧ください。



一 般 質 問

9人の
議員が登壇

殿 井 堯	新任部長の意気込みは	P 3
星 田 仁 志	町の遊休地を公園に！	P 4
椿 原 竜 二	子育てするなら有田川町！	P 5
谷 畑 進	(仮称) 有田川海南風力発電事業の経過は	P 6
佐々木 裕 哲	国史跡「藤並館跡」今後の保存と活用は	P 7
増 谷 憲	新たな風力発電事業計画は問題点が山積	P 8
岡 省 吾	ワクチン供給体制と接種の見通しは	P 9
小 林 英 世	自然を壊す再生エネルギーはいらない！	P 10
堀 江 眞智子	学童保育のさらなる充実を！	P 11

※各議員ページのQRコードを読み取ると一般質問の動画を視聴することができます。

次回、令和3年第3回定例会の一般質問は、9月9日、10日を予定しています。



殿井 堯

新任部長の意気込みは

問 新たに議会へ出席されることになった執行部職員に対し、具体的な政策や取り組みへの意気込みを問う。

福祉保健部長 ワクチン接種が安全に行われるよう取り組んでいく。今年開催される「紀の国わかやま文化祭2021」において「やさすぎふれあいフェスタ」で障がいについての理解・啓発を深めていきたい。

また、成年後見制度の啓発、介護予防事業、妊娠期からの連続した支援、児童虐待・引きこもり、DV対策にも取り組む。

住民税務部長 税の収納率向上と窓口業務を効率化し、来庁者の負担軽減を図りたい。子どもの医療費助成は引き続き実施していきたい。

国民健康保険と後期高齢者医療は、医療財政健全化に取り組む。

教育部長 未来を担う子どもたちの可能性を伸ばし、立派に社会に通用する力を身につけるため、保育所や学校・家庭・地域がそれぞれ連携し、充実した教育と環境整備に努めたい。



ワクチン保管の冷凍庫

清水地域でのワクチン保管は

問 清水地域でワクチンを廃棄する問題が発生した。今後の保管方法はどうか。

答 停電時、自動的に切り替わる12時間使用できるバックアップバッテリーを配備する。今後もワクチン管理を徹底する。

宅地等介在農地の課税は

問 農地転用許可後、放置されている宅地等介在農地の課税はどうなるか。

答 農地法上の規制対象外となり、周辺の宅地評価額から造成費を差し引いた宅地並み課税を行っている。

農業集落排水を公共下水道に接続する計画は

問 5カ所の農業集落排水施設を公共下水道に接続する計画は、どのようになっているか。

答 コスト削減、効率化の観点から、令和3年度は「徳田」地区を接続する。

令和4年度は「田殿」「吉見」地区、令和5年度は「熊井・奥」「吉原」の各地区を接続する予定。

御霊小学校トイレ改修の日程は

問 御霊小学校トイレ洋式化の工事日程はどうか。

答 工事は2工区に分けて行う。校舎棟の工事は夏休みを予定。仮に長引く可能性が出てきたら休日の工事も考えている。



御霊小学校

町の遊休地を公園に!



星田 仁志

問 町内には多くの公園があるが、幼児を抱える若いお母さんたちからは「小さくても気軽に自宅から歩いて行ける公園が欲しい」との要望がある。

答 町内に、公園に適した場所があるのなら、要望に応えることも有効利用につながるのではないかと。要望があれば、区が事業主体となり「ふるさとづくり事業」を活用し、設置と管理をしている。要望場所が、町有遊休地と一致すれば、有効活用できるよう検討する。



秋葉子ども公園

町職員にもボランティア活動を

問 吉備地域の清掃ボランティアは、町管理の道路や公園の清掃がおもな活動である。町職員にも参加を促せないのか。

答 町管理の施設は、清掃や除草の人員を確保し、作業にあたって、いるが十分ではなく、ボランティアの方々には大変お世話になっている。

今後は、町職員にも積極的な参加を呼びかけていきたい。

意見 町内には、たくさんさんのボランティア団体がある。それらの団体にも積極的に参加をしていただきたい。

一般質問後の担当課の対応は

問 昨年9月定例会に鉄道公園の防犯灯の設置について質問をした。当初、計画していた照明器具が変更され、今年の3月にプラスチック製の電球を9基設置。

答 しかし、5月には撤去された。一般質問の後、9カ月も経過するのに一連の報告や連絡がなぜないのか。

答 報告を怠っていたことに対しお詫び申し上げ、今後は、部署内



防犯灯設置の要望がある鉄道公園

の情報共有と連絡・報告を徹底する。経緯は、12月に2カ所、年度末に1カ所の照明を設置した。球体照明は、その間の応急処置として設置したものの、3カ所の工事が終了したので撤去した。

問 照明を3カ所設置したのは確認している。以前よりは改善されたが、十分ではない。再度、球体照明を設置してはどうか。

答 球体照明自体は、それほど明るくないが、道路の端を確認できるメリットもあるので、改めて検討する。



椿原 竜二

子育てするなら有田川町!

問 本町が行っている「結婚・出産・子育て」の支援策は。

答 左記のとおり。
有田川町

- ・ すまい給付金
 - ・ 育児用品等購入助成
 - ・ 第3子以降出産祝金
 - ・ 障害児通所施設
 - ・ 遠距離通所補助金
 - ・ 高校卒業まで
 - ・ 医療費を無償化
 - ・ インフルエンザ
 - ・ 予防接種費用の助成
 - ・ 母子手帳アプリ
- 『母子モ』
- ・ 読書支援事業
 - ・ 在宅育児支援事業
- 加算給付などがある。

問 内閣府の「結婚新生活支援事業」に申請をしていない理由は。

答 生活基盤整備事業や保育所の建設など、多額な予算が必要となるため、申請には至らなかった。

問 今年度の重点施策としている「ふるさと応援寄附金」などで財源が確保されれば、更なる支援策に期待をする。今後の見解は。

答 ふるさと応援寄附金や財政状況を見据えて検討したい。

問 有田市が今年度より支援事業のパッケージを作成している。

給付事業だけでなく、ソフト事業や、想いを込めたパッケージを、部署間で連携して作成するメリットは大きいと感じるが見解は。

答 部署間の連携を進めることで、先を見越した施策が打てると思われる。

有田川町でも、分かりやすく伝えられるよう考えていく。

ありがたわ
グルメとりっぷ

問 町内の飲食店情報をもとめた冊子「ありだわグルメとりっぷ」の内容と目的は。

答 役場・商工会・有田ラボ・一般有志で構成する作成委員会で作成をする。

町外からの来町を促すため、旅行や外出のきっかけとなる「食」に関するお店をまとめ、町内の飲食店や観光スポットなどへの周遊につなげたい。

問 対象となる店舗への周知と募集方法は。

答 ホームページに掲載している。また、商工会や有田ラボを通じて、会員や加盟店への声掛けをお願いしている。

問 予算と発行部数は。

答 観光費の50万円を活用し、8000部を発行する予定である。

問 コロナ禍で大変ご苦労している飲食店からすれば、町外からの来客もありがたいと思う。

しかし、地元の飲食店を守っていくためにも、町内の方々に利用してもらおうことが大切だと考える。

コロナ対策関連の予

算を活用して、発行部数を増やし、各ご家庭に全戸配布すれば、経済対策につながると思われるが見解は。

答 応援クーポンを配布した際の一覧表を見て、初めて知ったお店があったなどの声も聞く。

全戸配布は大きな効果が期待できるので、そのための予算も検討していく。

地域情報アプリ
有田ラボ
和歌山県有田の生活を100倍楽しむ情報満載アプリ

アプリのダウンロードはこちら

Available on the iPhone App Store | Get it on Google play

有田ラボ で検索

冊子作製に全面協力、地域情報アプリ「有田ラボ」

(仮称) 有田川海南 風力発電事業の経過は



谷 畑 進

問 海南高原カントリークラブの有田川町側に、日本風力発電エネルギー株式会社が大風力発電事業を展開しようとしている。近隣住民は住居に近く、大反対している。以前より反対していた海南紀美野風力発電事業との関係は。

答 (仮称) 有田川海南風力発電事業は、海南紀美野風力発電事業計画を変更したものだ。海南高原カントリークラブ敷地内に4200kw級の風力発電を12基設置する計画となっている。

問 前回の事業が達成できなかった原因は。

答 説明不十分で地元住民の理解が得られていない。

反対する立場の区では、説明会が開催されず、現地調査も行われなかった。



計画予定地を望む

問 反対する近隣住民が安心できる対策はあるのか。

答 反対している住民が風車建設を阻止する対策は見当たらない。

環境衛生課からは、常に地元住民への十分な説明と納得を得るよう繰り返しお願いをしている。

準備書における環境影響評価には、現地調査が必要で、風力発電設置周辺の土地に立ち入ることは不可欠である。

現在、周辺地域に立入禁止の看板が設置されているため、調査を請け負っている日本気象協会も立ち入ること

河川雑木の伐採 堤防の計画は

はできない。
事業計画地周辺地権者が、意思を明確に示して事業者に伝えることが重要であると考えられる。

問 糸野地区は川幅が狭く、氾濫の危険性があると。伐採と堤防の計画を問う。

答 堤防や流下に悪影響を及ぼし、早急に対応が必要な箇所から伐採するよう県に働きかけている。

むよう、有田川河川促進協議会を通じて県へ要請していく。
堤防は「2級河川有田川水系河川整備計画」に位置付けられ、河道断面の拡幅と堤防のかさ上げを行う計画となっている。

町としても重要な課題である
と認識し、河川整備が早急に進

河川整備は下流から進めるため、糸野地区内の工事着手は時間を要することになる。



減災のため対岸の雑木伐採が急がれる



佐々木 裕哲

国史跡「藤並館跡」 今後の保存と活用は

問 藤並館跡。夢の夢だった

国の史跡指定が現実となった。国史跡ということとは国民の財産だ。

今後、調査研究・保存、そしてそれらを展示するとすると、将来全国から見学者も大勢来るようになる。有田川町の大きな活性化にもつながる。

今後、教育部を中心に関係部署と連携して取り組むべきでは。
答 平成28年から本格的な調査研究に着手。今年3月26日、国指



定が決定された。今までご尽力いただいた保存会や関係者皆さまにお礼を申し上げます。
来年にかけ、保存活用計画を進めている。その計画に基づいて公有化などを実施し、各条件が整ったら文化庁の指針に沿って県教育委員会の指導をいただけるながら整備事業を進めていく。

問 国史跡指定記念シンポジウムが、きびドームと湯浅交流センターで大盛況の中で開催された。本町の部課長は参加されたのか。

答 参加しなかった。

意見 それぞれ事情があったかもしれないが、今後、関係してくる商工観光課の出席者がなかったのが残念である。十数年後には、町内随一の観光地になると関係者一同期待している。

もつと横のつながりを強くし、組織力の強化を図ってほしい。

日頃の人事 事務管理は

問 公務員として、起こしてはならない不祥事や重大なミスなど、過去の反省は生かされているのか。

答 今回の、ワクチン管理ミスに対し、町民の皆さまに深くお詫び申し上げます。原因は仕事の全体を把握できなかったことである。

一つの仕事を成し遂げるのには関係者全員が必要がある。これからは協議や会議を重ね、伝達経路を明確にして、二度と発生しないように取り組む。不祥事は合併後9件出ている。全体の奉仕者としての公務員が、不祥事を起こすことは誠に遺憾である。

問 今までことあるごとに言ってきた。今までより、さらに一歩進んだ事故防止策を考えられないのか。

答 庁議のほかに、部長会という組織をつくり、部署間のつながりを深めていく。



藤並館跡の発掘調査

新たな風力発電事業計画は 問題点が山積



増谷 憲



審査会（専門家）による現地調査

問 「海南紀美野風力発電事業」が「（仮称）有田川海南風力発電事業」と名前を変えて、ゴルフ場内に4200kw級を12基設置する計画に変更した。しかし、周辺地域の住民は調査のための立ち入りも反対している。調査が遅れると設置するメリッ

トがないのではないかと、**答** 工事が遅れると、買取価格に関する制度の期限が短くなり、利益が十分に上がらなくなる。

問 2つの事業者が日高川町との境界に計画している新規風力発電。これについての知事意見は厳しい内容だ。認識はどうか。
答 保安林を壊してまで設置すべきでないという厳しい意見だ。

問 風力発電事業への規制条例やガイドラインをつくってはどうか。
答 条例などは考えていない。



産科医の確保は 急務だ

問 12月で地元の産科医での分娩は中止となる。今後どう対応していくのか。
答 県医務課など関係機関への働きかけをしている。セミオープンシステムを利用することや、和歌山周産期医療ネットワーク協議会を通じて、分娩できる体制をつくっていききたい。

問 有田郡市外でのおもな分娩実績は。

答 和歌山市内では、県立医大27人、日赤16人、民間クリニック22人。日高圏域では6人である。

問 出産育児一時金は42万円だが、出産費用が平均51万円。
答 国が制度化するまで町が一時金の増額分を出してはどうか。

答 増額は重要だと考えるが、国の動向もあり、今のところ町単独は考えていない。国へ要望していきたい。

新型コロナウイルス対策の 充実を

問 コロナ不況に対して、引き続き対策は。
答 今後、状況をみて支援策を検討する。

問 個別接種に行く場合、交通費の支援はどうか。
答 現在、考えていない。

問

問 65歳以下の接種の見通しはどうか。
答 7月に入れば60歳から64歳の方にクーポン券を発送し、基礎疾患のある方については、ホームページなどで周知していく。

問 ワクチン接種コールセンターの受付回線を増やさないのか。
答 4回線から6回線に増やした。

問 高齢者施設や学校などへ抗原簡易検査キットを配布し、検査の実施を。
答 各高齢者施設へは保健所から配布される。学校は、無症状の感染者を特定するときに考慮したい。

問 町ホームページにワクチン接種のわかりやすい表記を。
答 分かりやすくするために、現在トップページから見られるようにしている。

問



岡 省 吾

ワクチン供給体制と接種の見通しは

問 今後も、安定したワクチン供給体制となつていく見通しであるか。

答 現在、優先接種の高齢者用としてのワクチンは順調に供給されている。

国も接種を急いでいることもあり、今後とも順調にワクチンが供給されると思われる。

問 接種を希望するすべての町民がワクチン接種を完了できる時期を想定されているか。

答 本年11月末をめどに完了したいと考えている。

問 集中的に電話が殺到し、予約センターが



混乱した。

これまでの経過と、今後の円滑な予約受付の考えはどうか。

答 一時、コールセンターの電話がつながりにくい状況となり、皆さまにはご迷惑をおかけした。

それを踏まえ、電話回線の増設やクーポン券の発送を小分けにした。

今後、若い方々の接種を控え、ネット予約の方策も模索している。

問 若い世代の接種が可能となると医療機関の負担も増えることが予想される。今後の接種体制はどうか。

答 接種を希望される方が多く、各医療機関

には多大なるご協力をいただいている。今以上に、医療機関と協議を密にし、今後個別接種と集団接種を併用して実施する。また、商工会を通じて、企業による職域接種もお願いしている。

問 一般事務に加え、ワクチン接種事務における業務も増え、職員の負担も増している。現状の職員体制で対応できるのか。

答 現在、福祉保健部一丸となってワクチン接種業務に取り組んでいる。

今後、他部署とも連携を図り、スムーズな接種体制に努めていく。

消防団の現状は

問 消防団員の年齢層はどうか。

答 有田川町全消防団員の平均年齢は50・7



消防署との定期的な合同訓練

歳。うち、最も高い分団の平均年齢は65・6歳。

問 若い世代の団員獲得の動きや現況はどうか。

答 地域の状況を理解されている各分団において、その都度、積極的な団員の勧誘に努められているが、山間部にあつては少子高齢化のため団員の確保に苦慮されている。

問 このたび消防団員定数の削減条例案が提案されたがその理由は、

答 現在の全団員数は920人。実情の人数に応じた定数に改正し、現在の条例定数1000人から950人とすることを提案させていただいている。

問 今後の消防団組織のあり方をどう考えているか。

答 地域にとって消防団活動は欠かせない存在である。今後の団員確保も難しいが、消防署と消防団との連携をより一層保ち、住民の安心・安全を守っていく。

自然を壊す 再生エネルギーはいらない!



小林 英世

「有田川町と言えばエ
コの町」という魅力
(ブランド) 向上につ
ながっている認識し
ている。

問 風力や太陽光の巨
大施設での発電は自然
破壊につながり、自然
エネルギーと言えない
と考えるが認識は。

答 環境アセスメント

による県や環境省など、
各専門家の方から厳し
い審査を受けて、環境
への影響は最小限とな
るよう指示されるので、
一定の安全性は担保さ
れていると考える。

問 豪雨の季節が近づ
いてきた。

答 上六川メガソーラー
の側溝や調整池の管理
状態はどうか。

答 事業者から管理計
画と状況写真が送られ
てくる。

現状に問題はない。

問 次世代エネルギー
をまちづくりに活用す
るのであれば、巨大施
設の脅威を訴える住民
のためにも、町独自の
明確なルールをつくっ
てはどうか。

答 巨大化する事業に
対して国や県の許可は
さらに厳しくなると予
想する。

問 特定ベンダー(メ
ーカー)の独自技術に
大きく依存したシステ
ムなどを採用すると、
他のベンダーへの乗り

答 デジタル化が進み、
本町でも多くのシステ
ムが採用されている。
更新を必要とするシ
ステムの種類と保守料
の現状はどうか。

答 システムは約40種
類。保守料は年間60
00万円である。

問 システム契約の現
状はどうか。

答 構築や更新などの
契約金額は100万円
から3000万円まで
さまざま。

問 業者選定は価格だけ
では決められない。事
業内容提案で選定する
プロポーザル方式や随
意契約がほとんどであ
る。

答 約32種類の計画を
策定している。

問 長期計画や福祉計
画の作成においても業
者委託が行われている。
業者任せの恐れがある
と思うが作成委託の現
状はどうか。

答 新規の委託契約はプ
ロポーザルなど、更新
は継続性が必要な場合、
随意契約もある。

問 また、業者に頼らず
各課で策定しているも
の22種類ある。

答 自由競争も阻害され
るので公正取引委員会
が実態を調べようとし
ている。

問 本町ではベンダーロ
ックインに該当するシ
ステムはあるのか。

答 システムの多くは
広義においてベンダー
ロックインに該当する
と考える。

問 換えが難しくなる。こ
れをベンダーロックイ
ンというが、業者選択
が狭められ、コストが
増大するケースが多い
と聞く。

答 自由競争も阻害され
るので公正取引委員会
が実態を調べようとし
ている。

問 本町ではベンダーロ
ックインに該当するシ
ステムはあるのか。

答 システムの多くは
広義においてベンダー
ロックインに該当する
と考える。



上六川のメガソーラーと調整池

業者任せにしない システム導入を



堀江 眞智子

学童保育のさらなる充実を!

問 学童保育の役割はますます重要になってきている。

共働きの保護者も増えてきている中で、御霊小学校体育館に設置の第2学童保育所も定員がいつぱいの状態である。

来年度に向けて、学童保育施設の新設を考えているのか。

答 学童保育は非常に大事だと考える。現在は対応できていると聞いている。いつぱいになるのであれば早急に検討し、教育委員会と保護者と常に相談して、入れないことが起こらないようにしていく。



生理用品もトイレの備品に

問 コロナ禍の中、経済的な理由で生理用品が購入できない「生理の貧困」が、世界各国で社会問題となっている。

日本でも「生理用品の無料配布」の運動が急速に広がっている。

3月4日に「学生の5人に1人が生理用品入手に苦労」とNHKが報じた。

それ以来、衝撃が広がり、自治体や国に対策を迫る声が一気に高まった。

内閣府が「世界月経衛生デー」の5月28日に発表した初の調査では、生理用品配布に取り組んでいるのは39都道府県の255自治体

(5月19日時点)。

新日本婦人の会では、各地で女性向けの物資支援で生理用品を提供するとともに、生理用品無料配布の公的対策を求め行動している。

この団体は、貧困対策にとどめず「トイレペーパーのように生理用品が当たり前にある社会に」と求めている。

政府は4月「生徒学食への支援」や「手取りやすい場所」「保健室の他にも」など、学校トイレ配備も含む通知を出している。

「生理の貧困」とど

まらず、生理用品のトイレ常備を当たり前にすることが必要だと考えるが見解は。

答 現在、学校のトイレに生理用品は置いていない。各自で用意していただいている。学校に持ってくるのを忘れた子どもや、急に必要となる子どももいるため、保健室に常備している。

申し出により配布しているが、デリケートな話なので申し出がしやすい環境を整えていきたい。



子育て世帯生活支援特別給付金など 一般会計 補正予算 1億8194万円

令和3年第2回定例会は、6月8日から22日までの日程で開催し、本定例会に提案された議案を原案のとおり可決しました。



屋根の修繕が必要な野田公民館

一般会計 補正予算

1億8194万5千円

〈おもな事業〉

● 空き家を利用し健康増進の場とする事業
(清水地区)
150万円

● 県内旅行等バス借上げ補助
(町民6人以上参加で2分の1を助成)
350万円

● 野田公民館修繕
(雨漏り屋根修繕)
139万円

● 子育て世帯生活支援特別給付金
3000万円

国の事業として低所得の子育て世帯に対して生活支援を行うため特別給付金が支給されます。

* 国の「ひとり親世帯分の特別給付金」を支給された方は対象外となります。

* 給付金額
児童一人あたり
一律5万円

* 対象人数
約600人

* 申請期限
令和4年2月28日

* 対象者
18歳未満の児童を養育する父母等で令和3年度住民税(均等割)が非課税の方。

または、令和3年1月1日以降収入が急変し、住民税非課税相当の収入になった方。

(令和3年4月〜令和4年2月末までの新生児を含む)



外壁などの改修が必要な田殿公民館

● 田殿公民館改修工事
(外壁・屋根瓦修繕・シロアリ対策)
1210万円

● 防災・安全交付金事業
5928万円

・ 町道北筋西丹生図線
・ 町道久野原沼谷線
・ 大沼トンネル修繕

● 公共土木施設災害復旧事業
1800万円

・ 町道ダム湖日浦線
・ 町道福井笹野茶屋線

● 清水斎場修繕費
(空調工事)
770万円

● 緊急自然災害防止対策工事
4400万円

・ 町道前番八幡線
法面工事
・ 町道中井原本線
側溝工事

● 更生医療給付費
735万円

● 給付費の内訳は、
心臓疾患と腎臓疾患に関するものである。

● ゴミ置き場
設置補助金
40万円

● 問
ゴミ置き場設置補助金40万円の内訳はどうか。

● 答
当初180万円を予算化していた。各区からの要望が多くなり、予算がほとんどなくなったので緊急用として補正した。

● 〔専決処分〕
御霊小学校トイレ
大規模改修事業
9932万円

● 問
今までは教育上の観点から、和式トイレを1つ残してきた。

● 答
校舎のトイレが全て洋式化される計画になっているが、教育部局はどう考えているのか。

● 問
不特定多数の方が直接便座に触れる洋式トイレを好まない方もいる。

● 答
少数派の和式トイレを使いたい方への配慮は。

● 問
提出された議案に対し、答弁が異なるが町長はどう考えるか。

● 答
議案通り、全て洋式化で進めていく。



巻き込まれ被害軽減装置

塵芥収集車

〈財産の取得〉

● 2トン塵芥収集車の購入 730万円

問 今回取得するゴミ収集車の労働安全対策は、どのようになっているか。

答 車両への巻き込み被害を軽減する装置をつける。

問 清掃事業における安全衛生管理要綱の徹底や委託業者からの報告はどうか。

答 要綱を遵守するよう業者に指導している。また事故などの問題が発生すれば、報告を受けるようにしている。

〈条例の一部改正〉

● 町税条例
● 介護保険条例
● 少年センター設置条例

例

● 消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例

問 消防団員の定数を1000人から950人への変更だが、今後

も人員減が予想される。その時も減らすのか。ある程度の団員数が必要ではないか。

答 人員確保は大変重要。人口減や過疎化が進めば状況に応じて対応したい。現状の団員数の確保に努めたい。

〈条例の廃止〉

● 町営風力発電設備条例

例

〈報告〉

● 一般財団法人「有田川町ふるさと開発公社」の経営状況

〈請願の審査〉

● 「新型コロナウイルス感染症対策で、医療・介護従事者への支援等を国及び県に求める意見書の提出についての請願書」

紹介議員

椿原 竜二

— 不採択 —

● 「消費税凍結を求める請願」

紹介議員

増谷 憲

小林 英世

— 不採択 —

〈意見書の提出〉

● 「東京オリンピック・パラリンピック競技大会を中止し、新型コロナウイルス対策に全力を挙げることを求める意見書の提出」

提案議員

増谷 憲

賛同議員

堀江眞智子

— 否決 —

〈委員の任命同意〉

● 農業委員会委員

- 中田孔美子氏(水尻)
- 須佐見益雄氏(水尻)
- 岩崎 哲也氏(植野)
- 上田 久志氏(野田)
- 大倉 一博氏(田口)
- 花田 正幸氏(長田)
- 山田 清美氏(庄)
- 山田 光司氏(徳田)
- 栗本 孝彦氏(立石)
- 橋爪 利範氏(伏羊)
- 西井 一雄氏(彦ヶ瀬)
- 前田 忠久氏(生石)
- 中岡 義照氏(二石)
- 山田 文男氏(清水)
- 宮本 一彦氏(久野原)

〈令和2年度予算の専決処分〉

会計名	補助額
一般会計	△9739万円
国民健康保険事業特別会計	△8224万円
後期高齢者医療特別会計	610万円
介護保険事業特別会計	△1億1485万円
簡易水道事業特別会計	△1466万円
公共下水道事業特別会計	△3550万円
農業集落排水事業特別会計	△1590万円
簡易排水事業特別会計	△22万円
浄化槽事業特別会計	△10万円
かなや明恵峡温泉特別会計	1483万円

事業費が確定したことにより、それに伴い負担金、繰入金、地方債等の額が確定したので補正するもの。

令和3年第2回定例会の採決状況 (誌面の都合上、賛否の分かれた議案のみ掲載します)

議案名	議員名	結果	堀江	増谷	椿原	中島	星田	片畑	谷畑	小林	殿井	佐々木	森岡	新家	湊	亀井	
			江	谷	原	島	田	畑	林	井	岡	家	湊	井			
専決処分の承認を求めることについて 令和3年度有田川町一般会計補正予算(第2号)		可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	欠	○	○
「新型コロナウイルス感染症対策で、医療・介護従事者への支援等を国及び県に求める意見書についての請願書」 ◎委員会不採択に対して		不採択に可決	×	×	×	○	○	○	○	×	欠	○	○	-	欠	○	○
「消費税凍結を求める請願」 ◎委員会不採択に対して		不採択に可決	×	×	○	○	○	○	○	×	欠	○	○	-	欠	○	○
東京オリンピック・パラリンピック競技大会を中止し、新型コロナウイルス対策に全力を挙げることを求める意見書の提出について(発議第1号)		否決	○	○	×	×	×	×	×	○	欠	×	×	○	-	欠	×

(注) 森谷信哉議員は、議長のため採決には加わらない。 ○は賛成 ×は反対

総務文教福祉常任委員会

【付託議案の審査】

当委員会に付託されました請願2件について審査し、慎重審議の結果、委員会では両請願とも賛成少数で不採択と決しました。

【教育部】

○アニメの世界とボクらの未来プロジェクトの件
手塚プロダクションと提携し、鳥獣戯画をモチーフにしたさまざまな事業が展開されていきます。

【消防本部】

○消防指令業務の共同運用の件
有田川町消防本部では、湯浅広川消防本部との消防指令業務共同運用について、現在協議を行っています。
運用開始は令和5年度を予定しています。

【福祉保健部】

○新型コロナウイルスワクチン接種の件
ワクチン接種の進捗状況と、今後のクーポン券配布の見通しなどの説明を受けました。
今後は、段階的に若年層へと接種が広がっていきます。

【総務政策部】

○防災行政無線の件
お昼の時報再開を求める声を受け、各区長会で協議。
区長会の意見集約後、最終決定を行い、お昼の時報が再開されるかどうか決定されます。



有田川町消防本部を視察

産業建設住民常任委員会

【付託議案の審査】

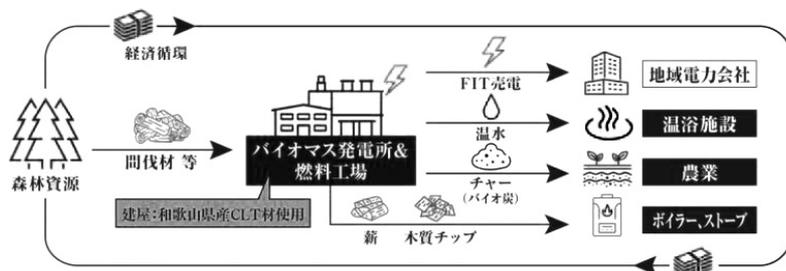
○「後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書の提出についての陳情書」
国会でこの法案が可決されたことに伴い、現状維持が不可能となったため、全員一致で「審議未了、廃案」となりました。

【建設環境部】

(仮称)有田川海南風力発電事業の状況について説明を受けました。

【産業振興部】

○有田川バイオマス(株)による「木質バイオマス発電事業」の今後
設置計画が遅れていた「木質バイオマス発電事業」の地鎮祭が6月16日に行われました。



令和4年5月に営業運転開始となります。出力は900kw。年間約6700kwh。町内の未利用材を使い年間約1万トンの木材をチップに加工します。

また発電時に発生する熱は、隣接の「かなや明恵峡温泉」の温泉水の加温にも利用される予定です。

【議案調査】

○財有田川町ふるさと開発公社の経営状況
産業振興部職員、(財)ふるさと開発公社代表理事と専務理事より、令和2年度の決算状況を聴取しました。

新型コロナウイルスの影響で経営が困難な状況下、ほぼ前年に近い利益額を確保することができました。
積極的に事業の多角化と収入の増加に向けた熱意ある取り組みをした結果であります。
町執行部に対して、公社側の努力を評価し、しっかりとサポートを続けていくことを要請しました。

国道対策特別委員会

6月16日(水) 委員10人と有田振興局建設部職員および町職員とともに、町内各地を視察し、現状調査や意見交換を行いました。

【国道480号】

現在工事中の清水工区を確認しました。(今年度中に完成予定) また、計画中の杉野原区から押手区までの区間を視察しました。狭小区間の丹生神社東側付近において待避所を設ける計画が進んでいるとの説明を受けました。

【国道424号】

青田区から瀬井区までを廻り、拡幅部分やバイパス部分(青田工区)の現状を確認しました。

【県道海南金屋線】

上六川区内を視察しました。各工事箇所において進捗状況の確認と県の説明を受けるとともに、道路の草刈り・木の伐採・白線引きなどの維持管理を要望しました。



待避所設置予定の国道480号 (丹生～出)



工事が進む国道424号 (西ヶ峯)

防災・減災、国土強靭化特別委員会

【趣旨】

広大な面積を有する有田川町。町民の生活を守り、地域の保全を図るためには、防災・減災面の観点から、強力かつ迅速な国土強靭化に基づいた河川・インフラ整備が必要です。

【目的】

令和3年度より「防災・減災、国土強靭化のための5カ年加速化対策」が定められました。事業について深く調査研究するとともに、執行部への提言などを行うことが重要と考え、特別委員会を設置しました。

常任委員会が担っています。

これらの常任委員会が受け持つ事項を、特別委員会はより専門的に調査し、研究を深めていきます。

国土強靭化とは…

大規模自然災害時に人命を守り、経済社会への被害が致命的にならず迅速に回復する「強さとしなやかさ」を備えた国土、経済社会システムを平常時から構築していくこと。

委員会構成

- ◎ 漆 正剛
- 亀井 次男
- 増谷 憲
- 谷畑 進
- 林 宣男
- 殿井 堯
- 佐々木裕哲
- 岡 省吾

【既存委員会との連携】

「防災関連」は総務文教福祉常任委員会、「道路整備・産業振興関連」は産業建設住民



晴天のもとで開催の体育祭



学校行事は心に残る大切な思い出です…

【町民の皆様へ】

◎次回定例会の予定

9月定例会は9月1日開会予定で、一般質問は9月9日、10日を行う予定です。

ぜひ、傍聴にお越しください。

◎請願・陳情の受付

9月定例会での審議を希望する場合は、8月23日までに議会事務局へ提出してください。

お問い合わせ ☎ 22-13294
吉備庁舎4階議会事務局まで

広報広聴常任委員会

- ◎ 増谷 憲
- ◎ 小林 英世
- 椿原 竜二
- 中島 詳裕
- 星田 仁志
- 岡省 吾

◎は委員長
○は副委員長

編集後記

【議会を身近に】

これまで取り組んできたインターネットでの録画配信。いよいよ今議会から開始する運びとなりました。

これまで議場へ傍聴に行きたいと思っても平日の多様な時間。現実的に行くのが、なかなか難しいとお声も多く寄せられていました。

この録画配信で、議会の雰囲気を感じていただければ幸いです。

さて、現在、ワクチンの接種も順調に進んでいます。接種を希望するすべての皆さまの接種も、11月をめどに完了したい旨の方針も出されました。

新型コロナウイルス感染症終息に向け、まだまだ予断を許さないところではありますが、一筋の光が見えてきたように思う今日この頃です。

(岡 省吾)